菊陽町議会議員　/活/動/報/告/

大久保あきら通信

2022.8　No.27

大久保あきら後援会事務所
〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5（有限会社大輝不動産内）　TEL096-233-1237

コロナ禍における
ワクチンやマスク着用に関する私の意見

昨年の9月定例議会、今年の3月定例議会の一般質問において、私は新型コロナウイルスワクチンに関する質問をおこないました。その内容については、大久保あきら通信No.24・No.26でも詳細をお伝えさせていただいております。またYouTubeで動画をご覧いただいた方もいらっしゃるかと思います。

新型コロナワクチンの効果は

新型コロナワクチンについては、昨年のワクチン接種が始まったころ、国などが「親孝行のためのワクチン」「思いやりワクチン」といった様々なＴＶコマーシャルやインターネット広告等で広めた、社会の為、周りの為に接種すべきというスローガンを掲げていました。しかしながら、社会の為、周りの為というスローガンも、残念ながら集団免疫の獲得は困難であるとの結論はもう随分と前にでています。

ワクチン接種開始当初は、「感染しない」「感染させない」というようなことでワクチン接種を推奨していましたが、今では「重症化しないため」というように論調がすり替わっているように感じています。そして私は議会で「重症化を予防できるようなデータはあるのか」と質問しましたが、町としてそのようなデータは持っていないということでした。

私は、新型コロナワクチンを全て否定するわけではありませんが、重症化リスクが極めて低い子どもたちへのワクチン接種は慎重であるべきという立場です。

マスクの効果は

夏の暑い季節にもかかわらず、どこに行ってもマスクの着用を求められますが、果たしてマスクによる新型コロナウイルスの予防効果はどれくらい期待されるのでしょうか。

国民のほとんどがマスクの着用をしている現在も、発表される感染者数は8月に過去最高を更新する結果となっており、マスク着用による感染症の予防効果は極めて低いと考えざるをえませんし、暑い季節にマスクを常時着用することによる熱中症のリスクの方が高いと思います。登下校時の子どもたちがマスクを着用して歩いている姿を見ると、本当にこのままで良いのかと疑問を感じています。

後援会討議資料

○令和4年 第2回定例議会が開催されました

6月8日～17日に6月定例議会が開催されました

○行政報告

町長より行政報告がありました。主な内容をご紹介します

・燃油価格の高騰が農業経営に与える影響に鑑み、経営安定と継続的な農業振興を図るもので、菊陽町燃油価格高騰緊急対策事業としてこれまでに39件、183万円の支援を行った

・コロナ禍で回復が遅れている飲食業などの各種事業者支援と地域経済の活性化、家計の負担軽減を目的として、町内店舗で使用できる商品券と食事券を組み合わせた「プレミアム付振興券」の実施を予定している。

・町で整備を進めてきた「第二原水工業団地」では、世界最大の半導体受託製造企業である台湾のTSMCとソニーグループ、デンソーの出資による新会社「JASM」の新工場建設が進められており、来年末までの工場完成、令和6年末の生産開始に向けて、急ピッチで工事が進められている。

・「総合体育館新築工事」については、現在屋根工事を進めており、計画通り順調に進んでいる。町の防災力向上及び町民の健康増進につながる施設として、令和5年6月末の完成に向け、引き続き工事を進めていく。

・「乗合タクシー」について、運行の見直しを行い5月18日から開始している。詳細は広報きくよう5月号やホームページで周知している。

「JASM」新工場の建設が進んでいる

○令和4年度菊陽町一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に8億569.4万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ178億2,698.9万円とするもの。主なものとして住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金6,000万円、子育て世代への臨時特別給付金2,250万円、プレミアム付振興券事業3億2,509.9万円、学校給食補助金（食材費高騰に対する支援）760万円など。賛成多数で可決された。

○シルバー人材センターの適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）に関する請願書について、大久保あきらが紹介議員として付託委員会である文教厚生常任委員会へ説明しました。請願は採択され、その後に文教厚生常任委員長より同内容に関する意見書が提出され、こちらも本会議で賛成多数で可決されました。

○議会広報調査特別委員会の委員が1名委員会を辞任したため、私が委員に選任され、残りの任期中、再度議会広報誌の編集に携わることになりました。

○令和4年 第1回臨時議会が開催されました

7月22日　令和4年 第1回臨時議会が開催されました

○菊陽町議会事務局長（7月19日付で議会事務局長から町総務部付へ異動、同21日付で懲戒処分）が議員の中傷文書を配布した問題で、議会冒頭に町長より「二度とこのようなことが起きないよう指導を徹底し、信頼回復に努める」と発言し議会や町民に対し謝罪しました。

この問題は、6月末に議会事務局長（当時）による、議員の中傷文書をマスコミ等へ発信するという問題行動が発覚しており、町の対応（説明と異動や懲戒処分）があまりにも遅かったのではないかと感じています。

○令和4年度菊陽町一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に8,843.6万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ179億1,542.5万円とするもの。主な内容は、新型コロナ対策事業費として農業経営コスト高騰対策支援金2,500万円、中小事業者支援金4,900万円等。賛成多数で可決されました。

○菊陽北小学校放課後児童クラブの新築工事・造成工事に関する請負契約締結議案2件。

新築工事　2億7,280万円（税込み）　落札率98.33%

造成工事　1億2,716万円（税込み）　落札率98.60%

いずれも賛成多数で可決されました。

○総務常任委員会視察研修

6月21～23日の3日間、総務常任委員会で、宮城県・福島県へ震災後の復興についての視察研修へ行ってきました。視察先は、震災遺構大川小学校・大川震災伝承館、みやぎ東日本大震災津波伝承館、東日本大震災原子力災害伝承館、東京電力廃炉資料館などです。

震災遺構や伝承館では、大地震と津波の被害状況の説明と、当時の災害対応の検証、そして震災からの復旧・復興への取組みについての説明と質疑応答などがありました。

東京電力廃炉資料館では、原子力発電所の事故についてと、これからの廃炉事業に関しての詳細な説明を見聞きすることができました。

いずれの視察先も、現場へ行くことであらためて考えさせられることが多くありました。中には過去の災害の知識があれば、命を失わずに済んだと思われるケースも多く見受けられ、災害に対するハードの整備とあわせて、一人ひとりが災害対応への意識をしっかりと持っておくことが大切であると感じました。今回の学びや教訓を、今後の防災につなげていけるようにしなければならないと思っています。

東日本大震災・原子力災害伝承館

震災遺構 大川小学校

大久保あきらの主な動き　5月～7月

5月4日	熊本三区憲法フォーラムへ参加 ※①
5月12日	総務常任委員会
5月14日	参議院議員 松村よしふみ国政報告会へ出席
5月18日	つつみ泰之氏 総決起大会へ出席
5月25日	熊本市議会議員 小佐井 賀瑞宜 氏 「子どもの未来を守る勉強会」へ参加
5月26日	菊陽町商工会 総会へ出席 ※②
6月8日~17日	令和4年第2回定例議会
6月17日	広報特別委員会
6月19日	菊陽町消防団消防操法大会へ出席 ※③
6月21日~23日	総務常任委員会視察研修
6月24日	百条調査特別委員会
7月6日	百条調査特別委員会
7月12日	広報特別委員会　全員協議会
7月20日	百条調査特別委員会
7月22日	令和4年第1回臨時議会　全員協議会

①

②

③

大久保あきら　プロフィール

- ●昭和50年(1975年)7月2日生まれ
- ●平成6年　熊本工業高等学校 情報システム科卒業
- ●平成27年4月　菊陽町議会議員に初当選
- ●平成31年4月　菊陽町議会議員　2期目当選
- ●総務常任委員会副委員長　大津菊陽水道企業団議員
- ●有限会社大輝不動産　代表取締役(平成16年設立)
- ●家族／妻･長女･長男･母の5人。光の森1丁目に居住
- ●所属団体
  - ･菊陽町商工会 会員
  - ･菊陽町野球協会 会長
  - ･菊陽町防災士連絡協議会 会員
  - ･熊工会 代議員
  - ･熊本東倫理法人会 幹事
  - ･NPO法人 住宅債務者支援センター 理事長
  - ･日創研 熊本経営研究会 会員
  - ･日本会議 会員
  - ･夢街光の森会 相談役

★お気軽にお立ち寄りください。

大久保あきら
オフィシャルサイト

大久保あきらの活動の一環として、「大久保あきら通信」を発行させていただいております。皆様へ議会のことを少しでも発信できるように頑張って取り組んで参りたいと思います。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。皆様のご意見やご要望も頂ければ幸いです。

■ご意見・ご要望は後援会事務所、電話またはE-mail・LINEで
〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5（有限会社大輝不動産内）

▶TEL 096-233-1237　▶E-mail ohkubo@daiki-f.co.jp

大久保あきら
LINE

後援会討議資料